



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

令和3年7月1日

本資料の発表をもって解禁

信濃川・大河津分水 写真コンテスト作品募集

本コンテストは、前身となる「私の見た信濃川」写真コンテストから数えて、今回で30回目を迎えました。

昨年度は220点もの応募があり、そのうち24作品が受賞しました。
みなさまのご応募をお待ちしております。

部門：ジュニア部門を含む4つの部門で作品を募集します。

なお、全部門とも、河川の水面が写っていることが条件となります。

1. 信濃川下流 部門
2. 信濃川中流及び魚野川部門
3. 大河津分水 部門
4. ジュニア 部門

応募対象：一般(ただし、アマチュアに限る)

応募期間：令和3年7月1日(木)～9月30日(木) 必着

応募先：〒940-0098長岡市信濃1-5-30
国土交通省 信濃川河川事務所 調査課
または、新潟県内のフジカラー取扱店

問合せ先：国土交通省 信濃川河川事務所 調査課 ☎0258-32-3243

※詳細は、別紙作品募集チラシをご覧ください。

※作品募集チラシ設置場所は、新潟県内のフジカラー取扱店、沿川市町村(新潟市、長岡市、三条市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、魚沼市、南魚沼市、弥彦村、田上町、湯沢町、津南町)の庁舎、信濃川河川事務所、信濃川下流河川事務所など。信濃川河川事務所のホームページ(<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>)にも掲載しております。

○今回の募集開始に合わせ、長岡市立西地域図書館(長岡市緑町3丁目55番地41) 2Fにて、昨年度受賞作品の展示を行います。ぜひお立ち寄りください。

【期間:7月2日(金)～7月30日(金)】 ※木曜日休館、7月22日は特別開館日

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ
長岡市記者会、長岡地域記者会
三条市記者室、十日町記者クラブ
小出郷新聞、小千谷新聞
越南タイムス、FMゆきぐに
エフエム魚沼、建設業界向け専門紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 専門職 平塚 洋一郎(ひらつか よういちろう)
電話：0258-32-3243(内線354)
FAX：0258-34-9044

母なる大地越後平野に恵みをもたらす信濃川（関屋分水・魚野川・中ノ口川を含む）、越後平野の治水の要として私たちの暮らしを守る大河津分水について、その魅力を広く世間に紹介し、信濃川の治水事業、環境保全等の必要性をより身近に認識していただく機会として、信濃川と大河津分水を題材にした写真を募集します。

なお、今回より信濃川下流部門の入選作品のうち1点を、関屋分水を撮影したものといたします。



ジュニア部門 最優秀賞
「A moment of silence」小野 絢音

作品募集



信濃川下流部門 最優秀賞
「やすらぎ」小山 寛

応募期間 ▶ 令和3年 7月1日(木)～9月30日(木) 必着
応募対象 ▶ 一般 ただし、アマチュアに限る。

お問い合わせ ● 信濃川河川事務所調査課 〒940-0098 長岡市信濃 1-5-30 / TEL 0258-32-3243
応募先 ● 信濃川河川事務所調査課 ● 新潟フジカラー取扱店

大河津分水通水100周年記念事業



関屋分水通水50周年記念事業



関屋分水通水50周年

信濃川・大河津分水 写真コンテスト



👑 '20 グランプリ
信濃川中流及び魚野川部門 最優秀賞
「そうじゃるですたんす？」松田 浩明

詳細については
こちらから



<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

※応募要項等については、うら面をご覧ください。

審査発表

新潟県写真家協会ほかの審査委員により、厳正に審査を行います。
入賞予定者には、審査会終了後に通知します。

- ◆ 審査会 11月上旬 ◆ 表彰式 12月上旬
- ◆ 展示会 12月～3月



大河津分水部門 最優秀賞
「ステージライト」吉岡 義和

賞・点数 および副賞

グランプリ	最優秀賞の中から1点
最優秀賞	1点×4部門 賞状、商品券3万円(ジュニア部門は図書券3万円)
優秀賞	1点×4部門 賞状、商品券1万円(ジュニア部門は図書券1万円)
新潟日報社賞	1点×4部門 賞状、商品券3千円(ジュニア部門は図書券3千円)
新潟フジカラー賞	1点×4部門 賞状、自社商品
入選	2点×4部門 賞状、商品券3千円(ジュニア部門は図書券3千円)

主催

信濃川改修期成同盟会（長岡市、小千谷市、十日町市、南魚沼市、津南町、魚沼市、燕市） | 信濃川・中ノ口川治水事業促進期成同盟会（三条市、燕市、新潟市、加茂市、田上町、長岡市）
大河津分水改修促進期成同盟会（新潟市、長岡市、三条市、燕市、加茂市、田上町、弥彦村） | NPO法人信濃川大河津資料館友の会 | 国土交通省信濃川河川事務所・信濃川下流河川事務所

後援

新潟日报社 | 新潟県写真家協会 | ㈱新潟フジカラー | 新潟県カメラ写真商組合 | (一社)北陸地域づくり協会

河川の今を 心のカタチでとらえよう!

応募要項

- 応募点数に制限はありません。
- 【信濃川下流、信濃川中流及び魚野川、大河津分水の3部門】**
印画紙のサイズは、カラー、白黒とも四つ切り(ワイド可)
銀塩プリントとします。合成写真、組写真は不可とします。
【ジュニア部門】
印画紙のサイズは、カラー、白黒とも A4 サイズの
銀塩プリント(インクジェットプリント可)とします。
合成写真、組写真は不可とします。
- 未発表の作品であれば過去に撮影したものでも可とします。
- 選外作品をご希望により返却いたします。応募票の作品返却欄に返却方法を記入してください。郵便での返却は返信用切手を添付してください。
事務局窓口での返却は令和4年3月31日を期限といたします。
- 入賞者は、入賞作品の原版(ポジ、ネガ、デジタルデータ)を提出していただきます。また、ジュニア部門の入賞者は併せて氏名・生年月日を確認できるものを提出※していただきます。
※学校を通じた応募の場合は省略できます。
- 入賞作品の著作権は、撮影者に帰属します。
主催者は展示会、その他広報において入賞作品を撮影者の許可を要すること無く使用できるものとします。
- 人物の肖像権は撮影者の責任において承諾を得てください。
- 応募作品は、裏面に(氏名、年齢、住所、電話番号、応募部門、題名、作品返却、撮影場所、河川名)を記入した応募票を貼付してください。

応募部門

部門1 信濃川下流部門

大河津分水洗堰下流から新潟市の河口までの信濃川を撮影したもの。ただし関屋分水と中ノ口川を含む。

なお、今回より信濃川下流部門の入選作品のうち1点を、関屋分水を撮影したもの(関屋分水路河口から信濃川本川と関屋分水路が分かれる地点まで及び同地点から信濃川水門までを撮影したもの)といたします。

部門2 信濃川中流及び魚野川部門

信濃川本川と大河津分水路が分かれる地点(大河津分水路右岸高水敷の最上流地点)から長野県境までの信濃川を撮影したもの。ただし魚野川を含む。

部門3 大河津分水部門

大河津分水路河口から信濃川本川と大河津分水路が分かれる地点(大河津分水路右岸高水敷の最上流地点)まで及び同地点から大河津分水洗堰までを撮影したもの。

部門4 ジュニア部門

18歳以下の方が新潟県内の信濃川(関屋分水、魚野川、中ノ口川を含む)と大河津分水を撮影したもの。

※各部門とも写真に水面が写っている事。
又、上記以外の支川は含まない。

きりとり線

信濃川・大河津分水 写真コンテスト 応募票

ふりがな ※必ずご記入ください	ふりがな ※必ずご記入ください
撮影者氏名 年齢 歳	作品の題名
住 所 〒	作品返却 <input type="checkbox"/> 返却不要 <input type="checkbox"/> 返送(切手を貼付した返信用封筒を同封してください) <input type="checkbox"/> 事務局窓口 <input type="checkbox"/> 提出カメラ店(店名:)
連絡先() -	撮影場所 ※必ずご記入ください
部 門 ※応募するテーマを選択して○で囲んでください。 〈部門1〉 信濃川下流部門 〈部門2〉 信濃川中流及び魚野川部門 〈部門3〉 大河津分水部門 〈部門4〉 ジュニア部門	河川名

※作品の裏面に貼付けてください